

# ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	香西 史子
主な担当科目	演劇の歴史と作品,初級英語II,中級英語II,上級英語IV
シラバス	次ページをご参照ください
2022年の教育目標・授業に臨む姿勢	<ul style="list-style-type: none"><li>・英語科目においては、正しい英語の理解とともに、正しい発音・発話指導にも大きく注力することにより、積極的に受講者が英語で自身の思いを発信する力を強化することを目指す。</li><li>・「演劇の歴史と作品」においては、各回の内容を精査し、重点的に知識として知るべき要素に時間を割くこと、また、メディア授業でありながらも双方向のコミュニケーション確立を目指す。</li><li>・「文学」においては、各回の内容を精査し、文学作品の付き合い方として新しい視点を与えられるように展開することを目指す。</li></ul>
2022年の教育に関する自己評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・英語科目においては、地道な発音指導が着実に実を結んだ。後期には国際英語発音指導士(R)の認定も受け、学生にとって信頼のおける発音指導者であることを示した。</li><li>・「演劇の歴史と作品」においては、特に後期において学生の理解度が高まり、また、コミュニケーションのある程度の確立ができた。</li><li>・「文学」においては、西洋文学の「解釈の方法」の新しい視点を示すことができた。</li></ul>
2022年のFD活動に関する自己評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・語学学内組織の主査として、学内組織FD議長を務め、非常勤講師を交えての情報・意見交換を行い、さまざまな視点からの意見を伺うことができた。</li></ul>
授業改善のために取り入れた研修内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・特に精神的なトラブルを抱える学生に対する処し方</li><li>・現在の大学教員が抱える諸問題</li></ul>

科目名－クラス名

## 演劇の歴史と作品

## 曜日時限

## 担当教員

他

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出			成果発表
講義	2～	前期	2	評価割合	50	0	0	0	50	100

## 教育到達目標と概要

この科目はメディア授業として開講する。総合芸術である演劇の西洋における誕生から現在に至るまでの歴史を概観する。それぞれの時代の精神がいかに演劇という芸術に反映されているか、演劇がその社会においてどのような役割を果たしてきたかを考える。なお、できるだけ多くの映像資料を紹介しながら講義を進めるが、可能な範囲内において積極的に実際に生の舞台を鑑賞することを勧める。

## 学修成果

ヨーロッパ演劇の歴史について、基礎的な知識を得ることができる。

## 授業展開と内容

第1回	ガイダンス。西洋演劇の起源。演劇って何？
第2回	ギリシャ演劇1。神に捧げる儀式としての演劇から、人間の本質探求の悲劇へ
第3回	ギリシャ演劇2。悲劇と喜劇、代表作の解説
第4回	ローマ演劇、中世演劇1
第5回	中世演劇2
第6回	イタリア・ルネサンス
第7回	エリザベス朝演劇 1
第8回	エリザベス朝演劇 2
第9回	ルネサンスのフランス、スペイン演劇
第10回	啓蒙主義、ロマン主義、産業革命、メロドラマ
第11回	リアリズム、ナチュラリズム
第12回	演出家の登場 独立劇場運動
第13回	演劇理論 1
第14回	演劇理論 2 不条理演劇
第15回	アメリカ演劇 身体の復権 フィジカル・シアターなど
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

## 履修上の注意

- ・受講方法についてのガイダンス動画を第1回（4月11日(月)09:00）当日 Teams にアップロードするので、必ず視聴してから受講すること。
- ・伝達事項は Teams を通じて行う。個別に連絡が必要な場合は大学発行のメールアドレスに送信する。
- ・演劇に対する強い関心と、ヨーロッパの歴史の基礎知識を持っていること。授業中に言及する歴史的事象について、積極的に自ら調べる姿勢を維持すること。
- ・毎月曜09:00にteamsに動画および次回予習用ハンドアウト、動画視聴確認フォームのリンク、テキストを掲出する。

- ・動画視聴確認フォーム（出席調査用。評価対象外）の提出は毎金曜17:00が期限。
- ・講義に関する問い合わせはメールにて担当教員とTAまで（土日、夜間除く）。
- ・課題・資料配付／回収は Teams を通して行うため、必要に応じて各自で印刷すること。
- ・動画本編およびワークシートはすべて日本語。
- ・また、視聴必須とする資料動画等は日本語だが、参考資料として提示する外部動画等には英語のみのものがある。（日本語での需要が少ないため、日本語版が公開されていない。）
- ・講義動画をSNS等で公表してはならない。

#### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

配布するテキストおよびワークシートで予習してから動画を視聴すること。予習では、次回授業で扱う時代・文化について、基礎的な調査を行うこと。復習では、授業で扱った作家・作品についてをさらに調査を深め、実際に読書・舞台鑑賞・映像鑑賞を行うこと。予習・復習共に平均90分程度を要する。授業内で言及する演劇作品については、可能であれば実際の舞台、あるいは映像資料や書籍で体験すること。提出された動画視聴確認フォームに対して、全体的な講評動画を掲出する。定期試験に対するコメント・評価は Teams を使用する。

#### 教科書・参考書

教科書：なし 授業内で適宜資料を提供する

参考書：世界史の教科書（特に指定しない。必ず必要ということはないが、これまで読んだことのある教科書などを読み合わせながら受講することを推奨する。）

参考：『BBCシェイクスピアシリーズ』（DVD）『蜷川シェイクスピア』（DVD）『リチャード・エアの英国演劇芸術展望』（DVD）『20世紀の偉大な作家たち』（DVD）

科目名－クラス名

## 演劇の歴史と作品

## 曜日時限

## 担当教員

他

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出			成果発表
講義	2～	後期	2	評価割合	50	0	0	0	50	100

## 教育到達目標と概要

この科目はメディア授業として開講する。総合芸術である演劇の西洋における誕生から現在に至るまでの歴史を概観する。それぞれの時代の精神がいかに演劇という芸術に反映されているか、演劇がその社会においてどのような役割を果たしてきたかを考える。なお、できるだけ多くの映像資料を紹介しながら講義を進めるが、可能な範囲内において積極的に実際に生の舞台を鑑賞することを勧める。

## 学修成果

ヨーロッパ演劇の歴史について、基礎的な知識を得ることができる。

## 授業展開と内容

第1回	ガイダンス。西洋演劇の起源。演劇って何？
第2回	ギリシャ演劇1。神に捧げる儀式としての演劇から、人間の本質探求の悲劇へ
第3回	ギリシャ演劇2。悲劇と喜劇、代表作の解説
第4回	ローマ演劇、中世演劇1
第5回	中世演劇2
第6回	イタリア・ルネサンス
第7回	エリザベス朝演劇 1
第8回	エリザベス朝演劇 2
第9回	ルネサンスのフランス、スペイン演劇
第10回	啓蒙主義、ロマン主義、産業革命、メロドラマ
第11回	リアリズム、ナチュラリズム
第12回	演出家の登場 独立劇場運動
第13回	演劇理論 1
第14回	演劇理論 2 不条理演劇
第15回	アメリカ演劇 身体の復権 フィジカル・シアターなど
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

## 履修上の注意

- ・受講方法についてのガイダンス動画を第1回（9月5日(月)09:00）当日 Teams にアップロードするので、必ず視聴してから受講すること。
- ・伝達事項は Teams を通じて行う。個別に連絡が必要な場合は大学発行のメールアドレスに送信する。
- ・演劇に対する強い関心と、ヨーロッパの歴史の基礎知識を持っていること。授業中に言及する歴史的事象について、積極的に自ら調べる姿勢を維持すること。
- ・毎月曜09:00にteamsに動画および次回予習用ハンドアウト、動画視聴確認フォームのリンク、テキストを掲出する。

- ・動画視聴確認フォーム（出席調査用。評価対象外）の提出は毎金曜17:00が期限。
- ・講義に関する問い合わせはメールにて担当教員とTAまで（土日、夜間除く）。
- ・課題・資料配付／回収は Teams を通して行うため、必要に応じて各自で印刷すること。
- ・動画本編およびワークシートはすべて日本語。
- ・また、視聴必須とする資料動画等は日本語だが、参考資料として提示する外部動画等には英語のみのものがある。（日本語での需要が少ないため、日本語版が公開されていない。）
- ・講義動画をSNS等で公表してはならない。

#### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

配布するテキストおよびワークシートで予習してから動画を視聴すること。予習では、次回授業で扱う時代・文化について、基礎的な調査を行うこと。復習では、授業で扱った作家・作品についてをさらに調査を深め、実際に読書・舞台鑑賞・映像鑑賞を行うこと。予習・復習共に平均90分程度を要する。授業内で言及する演劇作品については、可能であれば実際の舞台、あるいは映像資料や書籍で体験すること。提出された動画視聴確認フォームに対して、全体的な講評動画を掲出する。定期試験に対するコメント・評価は Teams を使用する。

#### 教科書・参考書

教科書：なし 授業内で適宜資料を提供する

参考書：世界史の教科書（特に指定しない。必ず必要ということはないが、これまで読んだことのある教科書などを読み合わせながら受講することを推奨する。）

参考：『BBCシェイクスピアシリーズ』（DVD）『蜷川シェイクスピア』（DVD）『リチャード・エアの英国演劇芸術展望』（DVD）『20世紀の偉大な作家たち』（DVD）

科目名－クラス名

## 演劇の歴史と作品

### 曜日時限

他

### 担当教員

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験				授業内小テスト	
講義	1～	前期	2	評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	
				評価割合	50	0	0	0	50
									100

### 教育到達目標と概要

この科目はメディア授業として開講する。総合芸術である演劇の西洋における誕生から現在に至るまでの歴史を概観する。それぞれの時代の精神がいかに演劇という芸術に反映されているか、演劇がその社会においてどのような役割を果たしてきたかを考える。なお、できるだけ多くの映像資料を紹介しながら講義を進めるが、可能な範囲内において積極的に実際に生の舞台を鑑賞することを勧める。

### 学修成果

ヨーロッパ演劇の歴史について、基礎的な知識を得ることができる。

### 授業展開と内容

第1回	ガイダンス。西洋演劇の起源。演劇って何？
第2回	ギリシャ演劇1。神に捧げる儀式としての演劇から、人間の本質探求の悲劇へ
第3回	ギリシャ演劇2。悲劇と喜劇、代表作の解説
第4回	ローマ演劇、中世演劇1
第5回	中世演劇2
第6回	イタリア・ルネサンス
第7回	エリザベス朝演劇 1
第8回	エリザベス朝演劇 2
第9回	ルネサンスのフランス、スペイン演劇
第10回	啓蒙主義、ロマン主義、産業革命、メロドラマ
第11回	リアリズム、ナチュラリズム
第12回	演出家の登場 独立劇場運動
第13回	演劇理論 1
第14回	演劇理論 2 不条理演劇
第15回	アメリカ演劇 身体の復権 フィジカル・シアターなど
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

### 履修上の注意

- ・受講方法についてのガイダンス動画を第1回（4月11日(月)09:00）当日 Teams にアップロードするので、必ず視聴してから受講すること。
- ・伝達事項は Teams を通じて行う。個別に連絡が必要な場合は大学発行のメールアドレスに送信する。
- ・演劇に対する強い関心と、ヨーロッパの歴史の基礎知識を持っていること。授業中に言及する歴史的事象について、積極的に自ら調べる姿勢を維持すること。
- ・毎月曜09:00にteamsに動画および次回予習用ハンドアウト、動画視聴確認フォームのリンク、テキストを掲出

### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

配布するテキストおよびワークシートで予習してから動画を視聴すること。予習では、次回授業で扱う時代・文化について、基礎的な調査を行うこと。復習では、授業で扱った作家・作品についてをさらに調査を深め、実際に読書・舞台鑑賞・映像鑑賞を行うこと。予習・復習共に平均90分程度を要する。授業内で言及する演劇作品については、可能であれば実際の舞台、あるいは映像資料や書籍で体験すること。提出された動画視聴確認フォームに対して、全体的な講評動画を掲出する。定期試験に対するコメント・評価は Teams を使用する。

### 教科書・参考書

教科書：なし 授業内で適宜資料を提供する

参考書：世界史の教科書（特に指定しない。必ず必要ということはないが、これまで読んだことのある教科書などを読み合わせながら受講することを推奨する。）

参考：『BBCシェイクスピアシリーズ』(DVD) 『蜷川シェイクスピア』(DVD) 『リチャード・エアの英国演劇芸術展望』(DVD) 『20世紀の偉大な作家たち』(DVD)

科目名－クラス名

## 演劇の歴史と作品

### 曜日時限

他

### 担当教員

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験				授業内小テスト	
講義	1～	後期	2	評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	
				評価割合	50	0	0	0	50
									100

### 教育到達目標と概要

この科目はメディア授業として開講する。総合芸術である演劇の西洋における誕生から現在に至るまでの歴史を概観する。それぞれの時代の精神がいかに演劇という芸術に反映されているか、演劇がその社会においてどのような役割を果たしてきたかを考える。なお、できるだけ多くの映像資料を紹介しながら講義を進めるが、可能な範囲内において積極的に実際に生の舞台を鑑賞することを勧める。

### 学修成果

ヨーロッパ演劇の歴史について、基礎的な知識を得ることができる。

### 授業展開と内容

第1回	ガイダンス。西洋演劇の起源。演劇って何？
第2回	ギリシャ演劇1。神に捧げる儀式としての演劇から、人間の本質探求の悲劇へ
第3回	ギリシャ演劇2。悲劇と喜劇、代表作の解説
第4回	ローマ演劇、中世演劇1
第5回	中世演劇2
第6回	イタリア・ルネサンス
第7回	エリザベス朝演劇 1
第8回	エリザベス朝演劇 2
第9回	ルネサンスのフランス、スペイン演劇
第10回	啓蒙主義、ロマン主義、産業革命、メロドラマ
第11回	リアリズム、ナチュラリズム
第12回	演出家の登場 独立劇場運動
第13回	演劇理論 1
第14回	演劇理論 2 不条理演劇
第15回	アメリカ演劇 身体の復権 フィジカル・シアターなど
第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

### 履修上の注意

- ・ 受講方法についてのガイダンス動画を第1回（9月5日(月)09:00）当日 Teams にアップロードするので、必ず視聴してから受講すること。
- ・ 伝達事項は Teams を通じて行う。個別に連絡が必要な場合は大学発行のメールアドレスに送信する。
- ・ 演劇に対する強い関心と、ヨーロッパの歴史の基礎知識を持っていること。授業中に言及する歴史的事象について、積極的に自ら調べる姿勢を維持すること。
- ・ 毎月曜09:00にteamsに動画および次回予習用ハンドアウト、動画視聴確認フォームのリンク、テキストを掲出す



### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

配布するテキストおよびワークシートで予習してから動画を視聴すること。予習では、次回授業で扱う時代・文化について、基礎的な調査を行うこと。復習では、授業で扱った作家・作品についてをさらに調査を深め、実際に読書・舞台鑑賞・映像鑑賞を行うこと。予習・復習共に平均90分程度を要する。授業内で言及する演劇作品については、可能であれば実際の舞台、あるいは映像資料や書籍で体験すること。提出された動画視聴確認フォームに対して、全体的な講評動画を掲出する。定期試験に対するコメント・評価は Teams を使用する。

### 教科書・参考書

教科書：なし 授業内で適宜資料を提供する

参考書：世界史の教科書（特に指定しない。必ず必要ということはないが、これまで読んだことのある教科書などを読み合わせながら受講することを推奨する。）

参考：『BBCシェイクスピアシリーズ』（DVD）『蜷川シェイクスピア』（DVD）『リチャード・エアの英国演劇芸術展望』（DVD）『20世紀の偉大な作家たち』（DVD）

科目名－クラス名

## 初級英語Ⅱ

A

## 曜日時限

水 2時限

## 担当教員

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	1～	通年	2	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				40	0	0	0	60	100

## 教育到達目標と概要

英語で発話する力を伸ばすことを目標とします。シェイクスピアの Romeo and Juliet（『ロミオとジュリエット』）を平易な英語で書き直した台本を使用し、内容の理解とともに実際にセリフを発声する練習を行います。特に、英語特有の音、リズムやメロディをつかみ再現することに重点を置きます。定着度を測り自らの成長を実感するための小テストを実施します。毎回の授業の予習および授業自体に Microsoft Teams および Microsoft One Note の機能を使用します。最終的には(1)小さな場면을自然な英語で作成発表し、(2)『ロミオとジュリエット』という作品の分析や解釈についてのディスカッションとプレゼンテーションを行います。

## 学修成果

英語特有の音、リズム、メロディを聞き分け、自らも発話できるようになる。英語の基礎的文法知識を用いて、英文を組み立てることができるようになる。

## 授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、Get to Know Your Classmates 英語で自己紹介しあい、英語でお互いの基礎情報を交換する
- 第2回 映画による内容把握1 シェイクスピアの英語に耳で慣れるようにつとめながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを整理する
- 第3回 映画による内容把握2 ことばと身体表現の関係に注目しながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを把握する
- 第4回 映画による内容把握3 登場人物のモチベーションを考えながら映画を見終わり、この作品についての意見を述べあう
- 第5回 Introduction, Act 1 Scene 1 - 1 の内容理解。受講生の発音能力の確認
- 第6回 Act 1 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。英語が日本語と異なるメロディをもつ理由。stress-timed language というものについて理解し、テキスト内の例を用いて耳と口で慣れる
- 第7回 Act 1 Scene 3 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いてさらに口慣れするように練習する
- 第8回 Act 1 Scene 3 - 2、Act 2 Scene 1 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習と、/r/ の発音に注目した練習を行う
- 第9回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第10回 Act 2 Scene 2、Scene 3 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。イントネーション、リンキングの重要性の解説と実践
- 第11回 Act 2 Scene 4、Act 3 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの例の解説と練習
- 第12回 Act 3 Scene 1 - 2、Act 3 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第13回 Act 3 Scene 3、Scene 4 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第14回 ここまでの授業で例としてとりあげた会話セクションを、グループで会話劇として組み立てる
- 第15回 ミニテスト。14回目で練習した場面の発表と、内容把握
- 第16回 Act 3 Scene 5 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第17回 Act 4 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/ɜ/ の発音方法解説と実践
- 第18回 Act 4 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。schwa /ə/ の発音方法解説と実践
- 第19回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第20回 Act 4 Scene 2、Act 5 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/æ/ の発音方法解説と実践
- 第21回 Act 5 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第22回 Act 5 Scene 2 - 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第23回 Act 1 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第24回 Act 1 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 2 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第25回 Act 2 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 3 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第26回 Act 3 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 4 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第27回 Act 4 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 5 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク

第28回 Act 5 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。意見交換

第29回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析のグループワーク

第30回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析結果のグループ・プレゼンテーション

### 履修上の注意

授業は必ず出席してください。

授業には Microsoft Teams および Microsoft One Note を使用しますので、使用するデバイス（タブレットあるいはPC推奨）を満充電の状態を持参してください。

課題・資料配付／回収は Teams を通して行いますので、必要な場合は各自で印刷してください。

クラスメイトとのコミュニケーションにマイク付きイヤフォンが必要な場合があります。

### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業内で、次回までの課題等を指示しますので、必ず準備してきてください。予習には60分程度、復習にも60分程度要します。授業内小テストおよび試験に対するコメント・評価は Teams を使用します。

### 教科書・参考書

Romeo and Juliet (William Shakespeare 著、Alistair McCallum 翻案、Oxford Bookworms Library) 必ず購入してください

科目名－クラス名

## 初級英語Ⅱ

B

## 曜日時限

金 1時限

## 担当教員

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	1～	通年	2	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				40	0	0	0	60	100

## 教育到達目標と概要

英語で発話する力を伸ばすことを目標とします。シェイクスピアの Romeo and Juliet（『ロミオとジュリエット』）を平易な英語で書き直した台本を使用し、内容の理解とともに実際にセリフを発声する練習を行います。特に、英語特有の音、リズムやメロディをつかみ再現することに重点を置きます。定着度を測り自らの成長を実感するための小テストを実施します。毎回の授業の予習および授業自体に Microsoft Teams および Microsoft One Note の機能を使用します。最終的には(1)小さな場면을自然な英語で作成発表し、(2)『ロミオとジュリエット』という作品の分析や解釈についてのディスカッションとプレゼンテーションを行います。

## 学修成果

英語特有の音、リズム、メロディを聞き分け、自らも発話できるようになる。英語の基礎的文法知識を用いて、英文を組み立てることができるようになる。

## 授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、Get to Know Your Classmates 英語で自己紹介しあい、英語でお互いの基礎情報を交換する
- 第2回 映画による内容把握1 シェイクスピアの英語に耳で慣れるようにつとめながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを整理する
- 第3回 映画による内容把握2 ことばと身体表現の関係に注目しながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを把握する
- 第4回 映画による内容把握3 登場人物のモチベーションを考えながら映画を見終わり、この作品についての意見を述べあう
- 第5回 Introduction, Act 1 Scene 1 - 1 の内容理解。受講生の発音能力の確認
- 第6回 Act 1 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。英語が日本語と異なるメロディをもつ理由。stress-timed language というものについて理解し、テキスト内の例を用いて耳と口で慣れる
- 第7回 Act 1 Scene 3 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いてさらに口慣れするように練習する
- 第8回 Act 1 Scene 3 - 2、Act 2 Scene 1 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習と、/r/ の発音に注目した練習を行う
- 第9回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第10回 Act 2 Scene 2、Scene 3 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。イントネーション、リンキングの重要性の解説と実践
- 第11回 Act 2 Scene 4、Act 3 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第12回 Act 3 Scene 1 - 2、Act 3 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第13回 Act 3 Scene 3、Scene 4 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第14回 ここまでの授業で例としてとりあげた会話セクションを、グループで会話劇として組み立てる
- 第15回 ミニテスト。14回目で練習した場面の発表と、内容把握
- 第16回 Act 3 Scene 5 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第17回 Act 4 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/ɜ/ の発音方法解説と実践
- 第18回 Act 4 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。schwa /ə/ の発音方法解説と実践
- 第19回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第20回 Act 4 Scene 2、Act 5 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/æ/ の発音方法解説と実践
- 第21回 Act 5 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第22回 Act 5 Scene 2 - 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第23回 Act 1 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第24回 Act 1 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 2 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第25回 Act 2 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 3 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第26回 Act 3 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 4 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第27回 Act 4 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 5 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク

第28回 Act 5 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。意見交換

第29回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析のグループワーク

第30回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析結果のグループ・プレゼンテーション

### 履修上の注意

授業は必ず出席してください。

授業には Microsoft Teams および Microsoft One Note を使用しますので、使用するデバイス（タブレットあるいはPC推奨）を満充電の状態を持参してください。

課題・資料配付／回収は Teams を通して行いますので、必要な場合は各自で印刷してください。

クラスメイトとのコミュニケーションにマイク付きイヤフォンが必要な場合があります。

### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業内で、次回までの課題等を指示しますので、必ず準備してきてください。予習には60分程度、復習にも60分程度要します。授業内小テストおよび試験に対するコメント・評価は Teams を使用します。

### 教科書・参考書

Romeo and Juliet (William Shakespeare 著、Alistair McCallum 翻案、Oxford Bookworms Library) 必ず購入してください

科目名－クラス名

## 初級英語Ⅱ

C

## 曜日時限

金 2時限

## 担当教員

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	1～	通年	2	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				40	0	0	0	60	100

## 教育到達目標と概要

英語で発話する力を伸ばすことを目標とします。シェイクスピアの Romeo and Juliet（『ロミオとジュリエット』）を平易な英語で書き直した台本を使用し、内容の理解とともに実際にセリフを発声する練習を行います。特に、英語特有の音、リズムやメロディをつかみ再現することに重点を置きます。定着度を測り自らの成長を実感するための小テストを実施します。毎回の授業の予習および授業自体に Microsoft Teams および Microsoft One Note の機能を使用します。最終的には(1)小さな場면을自然な英語で作成発表し、(2)『ロミオとジュリエット』という作品の分析や解釈についてのディスカッションとプレゼンテーションを行います。

## 学修成果

英語特有の音、リズム、メロディを聞き分け、自らも発話できるようになる。英語の基礎的文法知識を用いて、英文を組み立てることができるようになる。

## 授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、Get to Know Your Classmates 英語で自己紹介しあい、英語でお互いの基礎情報を交換する
- 第2回 映画による内容把握1 シェイクスピアの英語に耳で慣れるようにつとめながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを整理する
- 第3回 映画による内容把握2 ことばと身体表現の関係に注目しながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを把握する
- 第4回 映画による内容把握3 登場人物のモチベーションを考えながら映画を見終わり、この作品についての意見を述べあう
- 第5回 Introduction, Act 1 Scene 1 - 1 の内容理解。受講生の発音能力の確認
- 第6回 Act 1 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。英語が日本語と異なるメロディをもつ理由。stress-timed language というものについて理解し、テキスト内の例を用いて耳と口で慣れる
- 第7回 Act 1 Scene 3 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いてさらに口慣れするように練習する
- 第8回 Act 1 Scene 3 - 2、Act 2 Scene 1 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習と、/r/ の発音に注目した練習を行う
- 第9回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第10回 Act 2 Scene 2、Scene 3 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。イントネーション、リンキングの重要性の解説と実践
- 第11回 Act 2 Scene 4、Act 3 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの例の解説と練習
- 第12回 Act 3 Scene 1 - 2、Act 3 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第13回 Act 3 Scene 3、Scene 4 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第14回 ここまでの授業で例としてとりあげた会話セクションを、グループで会話劇として組み立てる
- 第15回 ミニテスト。14回目で練習した場面の発表と、内容把握
- 第16回 Act 3 Scene 5 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第17回 Act 4 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/ɜ/ の発音方法解説と実践
- 第18回 Act 4 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。schwa /ə/ の発音方法解説と実践
- 第19回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第20回 Act 4 Scene 2、Act 5 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/æ/ の発音方法解説と実践
- 第21回 Act 5 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第22回 Act 5 Scene 2 - 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第23回 Act 1 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第24回 Act 1 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 2 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第25回 Act 2 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 3 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第26回 Act 3 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 4 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第27回 Act 4 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 5 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク

第28回 Act 5 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。意見交換

第29回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析のグループワーク

第30回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析結果のグループ・プレゼンテーション

### 履修上の注意

授業は必ず出席してください。

授業には Microsoft Teams および Microsoft One Note を使用しますので、使用するデバイス（タブレットあるいはPC推奨）を満充電の状態を持参してください。

課題・資料配付／回収は Teams を通して行いますので、必要な場合は各自で印刷してください。

クラスメイトとのコミュニケーションにマイク付きイヤフォンが必要な場合があります。

### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業内で、次回までの課題等を指示しますので、必ず準備してきてください。予習には60分程度、復習にも60分程度要します。授業内小テストおよび試験に対するコメント・評価は Teams を使用します。

### 教科書・参考書

Romeo and Juliet (William Shakespeare 著、Alistair McCallum 翻案、Oxford Bookworms Library) 必ず購入してください

科目名－クラス名

## 初級英語Ⅱ

D

## 曜日時限

金 4時限

## 担当教員

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	1～	通年	2	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				40	0	0	0	60	100

## 教育到達目標と概要

英語で発話する力を伸ばすことを目標とします。シェイクスピアの Romeo and Juliet（『ロミオとジュリエット』）を平易な英語で書き直した台本を使用し、内容の理解とともに実際にセリフを発声する練習を行います。特に、英語特有の音、リズムやメロディをつかみ再現することに重点を置きます。定着度を測り自らの成長を実感するための小テストを実施します。毎回の授業の予習および授業自体に Microsoft Teams および Microsoft One Note の機能を使用します。最終的には(1)小さな場면을自然な英語で作成発表し、(2)『ロミオとジュリエット』という作品の分析や解釈についてのディスカッションとプレゼンテーションを行います。

## 学修成果

英語特有の音、リズム、メロディを聞き分け、自らも発話できるようになる。英語の基礎的文法知識を用いて、英文を組み立てることができるようになる。

## 授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、Get to Know Your Classmates 英語で自己紹介しあい、英語でお互いの基礎情報を交換する
- 第2回 映画による内容把握1 シェイクスピアの英語に耳で慣れるようにつとめながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを整理する
- 第3回 映画による内容把握2 ことばと身体表現の関係に注目しながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを把握する
- 第4回 映画による内容把握3 登場人物のモチベーションを考えながら映画を見終わり、この作品についての意見を述べあう
- 第5回 Introduction, Act 1 Scene 1 - 1 の内容理解。受講生の発音能力の確認
- 第6回 Act 1 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。英語が日本語と異なるメロディをもつ理由。stress-timed language というものについて理解し、テキスト内の例を用いて耳と口で慣れる
- 第7回 Act 1 Scene 3 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いてさらに口慣れするように練習する
- 第8回 Act 1 Scene 3 - 2、Act 2 Scene 1 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習と、/r/ の発音に注目した練習を行う
- 第9回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第10回 Act 2 Scene 2、Scene 3 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。イントネーション、リンキングの重要性の解説と実践
- 第11回 Act 2 Scene 4、Act 3 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第12回 Act 3 Scene 1 - 2、Act 3 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第13回 Act 3 Scene 3、Scene 4 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第14回 ここまでの授業で例としてとりあげた会話セクションを、グループで会話劇として組み立てる
- 第15回 ミニテスト。14回目で練習した場面の発表と、内容把握
- 第16回 Act 3 Scene 5 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第17回 Act 4 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/ɜ/ の発音方法解説と実践
- 第18回 Act 4 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。schwa /ə/ の発音方法解説と実践
- 第19回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第20回 Act 4 Scene 2、Act 5 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/æ/ の発音方法解説と実践
- 第21回 Act 5 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第22回 Act 5 Scene 2 - 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第23回 Act 1 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第24回 Act 1 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 2 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第25回 Act 2 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 3 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第26回 Act 3 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 4 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第27回 Act 4 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 5 の代表的場면을、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク



第28回 Act 5 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。意見交換

第29回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析のグループワーク

第30回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析結果のグループ・プレゼンテーション

#### 履修上の注意

授業は必ず出席してください。

授業には Microsoft Teams および Microsoft One Note を使用しますので、使用するデバイス（タブレットあるいはPC推奨）を満充電の状態を持参してください。

課題・資料配付／回収は Teams を通して行いますので、必要な場合は各自で印刷してください。

クラスメイトとのコミュニケーションにマイク付きイヤフォンが必要な場合があります。

#### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業内で、次回までの課題等を指示しますので、必ず準備してきてください。予習には60分程度、復習にも60分程度要します。授業内小テストおよび試験に対するコメント・評価は Teams を使用します。

#### 教科書・参考書

Romeo and Juliet (William Shakespeare 著、Alistair McCallum 翻案、Oxford Bookworms Library) 必ず購入してください

科目名－クラス名

初級英語Ⅱ

A

曜日時限

水 2時限

担当教員

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
演習	1～	通年	2	評価種別	40	0	0	0	60	100

教育到達目標と概要

英語で発話する力を伸ばすことを目標とします。シェイクスピアの Romeo and Juliet (『ロミオとジュリエット』) を平易な英語で書き直した台本を使用し、内容の理解とともに実際にセリフを発声する練習を行います。特に、英語特有の音、リズムやメロディをつかみ再現することに重点を置きます。定着度を測り自らの成長を実感するための小テストを実施します。毎回の授業の予習および授業自体に Microsoft Teams および Microsoft One Note の機能を使用します。最終的には(1)小さな場を

学修成果

英語特有の音、リズム、メロディを聞き分け、自らも発話できるようになる。英語の基礎的文法知識を用いて、英文を組み立てることができるようになる。

授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、Get to Know Your Classmates 英語で自己紹介しあい、英語でお互いの基礎情報を交換する
- 第2回 映画による内容把握1 シェイクスピアの英語に耳で慣れるようにつとめながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを整理する
- 第3回 映画による内容把握2 ことばと身体表現の関係に注目しながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを把握する
- 第4回 映画による内容把握3 登場人物のモチベーションを考えながら映画を見終わり、この作品についての意見を述べあう
- 第5回 Introduction, Act 1 Scene 1 - 1 の内容理解。受講生の発音能力の確認
- 第6回 Act 1 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。英語が日本語と異なるメロディをもつ理由。stress-timed language というものについて理解し、テキスト内の例を用いて耳と口で慣れる
- 第7回 Act 1 Scene 3 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いてさらに口慣れするように練習する
- 第8回 Act 1 Scene 3 - 2、Act 2 Scene 1 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習と、/r/ の発音に注目した練習を行う
- 第9回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第10回 Act 2 Scene 2、Scene 3 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。イントネーション、リンキングの重要性の解説と実践
- 第11回 Act 2 Scene 4、Act 3 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの例の解説と練習
- 第12回 Act 3 Scene 1 - 2、Act 3 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第13回 Act 3 Scene 3、Scene 4 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第14回 ここまでの授業で例としてとりあげた会話セクションを、グループで会話劇として組み立てる
- 第15回 ミニテスト。14回目で練習した場面の発表と、内容把握
- 第16回 Act 3 Scene 5 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第17回 Act 4 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/ɜ/ の発音方法解説と実践
- 第18回 Act 4 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。schwa /ə/ の発音方法解説と実践
- 第19回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第20回 Act 4 Scene 2、Act 5 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/æ/ の発音方法解説と実践
- 第21回 Act 5 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第22回 Act 5 Scene 2 - 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第23回 Act 1 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第24回 Act 1 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 2 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第25回 Act 2 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 3 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第26回 Act 3 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 4 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第27回 Act 4 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 5 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク

第28回 Act 5 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。意見交換

第29回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析のグループワーク

第30回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析結果のグループ・プレゼンテーション

#### 履修上の注意

授業は必ず出席してください。

授業には Microsoft Teams および Microsoft One Note を使用しますので、使用するデバイス（タブレットあるいはPC推奨）を満充電の状態を持参してください。

課題・資料配付／回収は Teams を通して行いますので、必要な場合は各自で印刷してください。

クラスメイトとのコミュニケーションにマイク付きイヤフォンが必要な場合があります。

#### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業内で、次回までの課題等を指示しますので、必ず準備してきてください。予習には60分程度、復習にも60分程度要します。授業内小テストおよび試験に対するコメント・評価は Teams を使用します。

#### 教科書・参考書

Romeo and Juliet (William Shakespeare 著、Alistair McCallum 翻案、Oxford Bookworms Library) 必ず購入してください

科目名－クラス名

**初級英語 II**

**B**

曜日時限

担当教員

金 1時限

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
演習	1～	通年	2	評価種別	40	0	0	0	60	100

教育到達目標と概要

英語で発話する力を伸ばすことを目標とします。シェイクスピアの Romeo and Juliet (『ロミオとジュリエット』) を平易な英語で書き直した台本を使用し、内容の理解とともに実際にセリフを発声する練習を行います。特に、英語特有の音、リズムやメロディをつかみ再現することに重点を置きます。定着度を測り自らの成長を実感するための小テストを実施します。毎回の授業の予習および授業自体に Microsoft Teams および Microsoft One Note の機能を使用します。最終的には(1)小さな場を

学修成果

英語特有の音、リズム、メロディを聞き分け、自らも発話できるようになる。英語の基礎的文法知識を用いて、英文を組み立てることができるようになる。

授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、Get to Know Your Classmates 英語で自己紹介しあい、英語でお互いの基礎情報を交換する
- 第2回 映画による内容把握1 シェイクスピアの英語に耳で慣れるようにつとめながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを整理する
- 第3回 映画による内容把握2 ことばと身体表現の関係に注目しながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを把握する
- 第4回 映画による内容把握3 登場人物のモチベーションを考えながら映画を見終わり、この作品についての意見を述べあう
- 第5回 Introduction, Act 1 Scene 1 - 1 の内容理解。受講生の発音能力の確認
- 第6回 Act 1 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。英語が日本語と異なるメロディをもつ理由。stress-timed language というものについて理解し、テキスト内の例を用いて耳と口で慣れる
- 第7回 Act 1 Scene 3 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いてさらに口慣れするように練習する
- 第8回 Act 1 Scene 3 - 2、Act 2 Scene 1 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習と、/r/ の発音に注目した練習を行う
- 第9回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第10回 Act 2 Scene 2、Scene 3 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。イントネーション、リンキングの重要性の解説と実践
- 第11回 Act 2 Scene 4、Act 3 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの例の解説と練習
- 第12回 Act 3 Scene 1 - 2、Act 3 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第13回 Act 3 Scene 3、Scene 4 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第14回 ここまでの授業で例としてとりあげた会話セクションを、グループで会話劇として組み立てる
- 第15回 ミニテスト。14回目で練習した場面の発表と、内容把握
- 第16回 Act 3 Scene 5 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第17回 Act 4 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/ɜ/ の発音方法解説と実践
- 第18回 Act 4 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。schwa /ə/ の発音方法解説と実践
- 第19回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第20回 Act 4 Scene 2、Act 5 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/æ/ の発音方法解説と実践
- 第21回 Act 5 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第22回 Act 5 Scene 2 - 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第23回 Act 1 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第24回 Act 1 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 2 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第25回 Act 2 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 3 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第26回 Act 3 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 4 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第27回 Act 4 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 5 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク

第28回 Act 5 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。意見交換

第29回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析のグループワーク

第30回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析結果のグループ・プレゼンテーション

### 履修上の注意

授業は必ず出席してください。

授業には Microsoft Teams および Microsoft One Note を使用しますので、使用するデバイス（タブレットあるいはPC推奨）を満充電の状態を持参してください。

課題・資料配付／回収は Teams を通して行いますので、必要な場合は各自で印刷してください。

クラスメイトとのコミュニケーションにマイク付きイヤフォンが必要な場合があります。

### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業内で、次回までの課題等を指示しますので、必ず準備してきてください。予習には60分程度、復習にも60分程度要します。授業内小テストおよび試験に対するコメント・評価は Teams を使用します。

### 教科書・参考書

Romeo and Juliet (William Shakespeare 著、Alistair McCallum 翻案、Oxford Bookworms Library) 必ず購入してください

科目名－クラス名

初級英語Ⅱ

C

曜日時限

金 2時限

担当教員

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出			成果発表
演習	1～	通年	2	評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	合計
				評価割合	40	0	0	0	60	100

教育到達目標と概要

英語で発話する力を伸ばすことを目標とします。シェイクスピアの Romeo and Juliet (『ロミオとジュリエット』) を平易な英語で書き直した台本を使用し、内容の理解とともに実際にセリフを発声する練習を行います。特に、英語特有の音、リズムやメロディをつかみ再現することに重点を置きます。定着度を測り自らの成長を実感するための小テストを実施します。毎回の授業の予習および授業自体に Microsoft Teams および Microsoft One Note の機能を使用します。最終的には(1)小さな場を

学修成果

英語特有の音、リズム、メロディを聞き分け、自らも発話できるようになる。英語の基礎的文法知識を用いて、英文を組み立てることができるようになる。

授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、Get to Know Your Classmates 英語で自己紹介しあい、英語でお互いの基礎情報を交換する
- 第2回 映画による内容把握1 シェイクスピアの英語に耳で慣れるようにつとめながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを整理する
- 第3回 映画による内容把握2 ことばと身体表現の関係に注目しながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを把握する
- 第4回 映画による内容把握3 登場人物のモチベーションを考えながら映画を見終わり、この作品についての意見を述べあう
- 第5回 Introduction, Act 1 Scene 1 - 1 の内容理解。受講生の発音能力の確認
- 第6回 Act 1 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。英語が日本語と異なるメロディをもつ理由。stress-timed language というものについて理解し、テキスト内の例を用いて耳と口で慣れる
- 第7回 Act 1 Scene 3 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いてさらに口慣れするように練習する
- 第8回 Act 1 Scene 3 - 2、Act 2 Scene 1 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習と、/r/ の発音に注目した練習を行う
- 第9回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第10回 Act 2 Scene 2、Scene 3 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。イントネーション、リンキングの重要性の解説と実践
- 第11回 Act 2 Scene 4、Act 3 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの例の解説と練習
- 第12回 Act 3 Scene 1 - 2、Act 3 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第13回 Act 3 Scene 3、Scene 4 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第14回 ここまでの授業で例としてとりあげた会話セクションを、グループで会話劇として組み立てる
- 第15回 ミニテスト。14回目で練習した場面の発表と、内容把握
- 第16回 Act 3 Scene 5 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第17回 Act 4 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/ɜ/ の発音方法解説と実践
- 第18回 Act 4 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。schwa /ə/ の発音方法解説と実践
- 第19回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第20回 Act 4 Scene 2、Act 5 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/æ/ の発音方法解説と実践
- 第21回 Act 5 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第22回 Act 5 Scene 2 - 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第23回 Act 1 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第24回 Act 1 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 2 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第25回 Act 2 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 3 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第26回 Act 3 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 4 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第27回 Act 4 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 5 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク

第28回 Act 5 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。意見交換

第29回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析のグループワーク

第30回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析結果のグループ・プレゼンテーション

#### 履修上の注意

授業は必ず出席してください。

授業には Microsoft Teams および Microsoft One Note を使用しますので、使用するデバイス（タブレットあるいはPC推奨）を満充電の状態を持参してください。

課題・資料配付／回収は Teams を通して行いますので、必要な場合は各自で印刷してください。

クラスメイトとのコミュニケーションにマイク付きイヤフォンが必要な場合があります。

#### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業内で、次回までの課題等を指示しますので、必ず準備してきてください。予習には60分程度、復習にも60分程度要します。授業内小テストおよび試験に対するコメント・評価は Teams を使用します。

#### 教科書・参考書

Romeo and Juliet (William Shakespeare 著、Alistair McCallum 翻案、Oxford Bookworms Library) 必ず購入してください

科目名－クラス名

初級英語Ⅱ

D

曜日時限

金 4時限

担当教員

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計	
				定期試験				授業内小テスト		
演習	1～	通年	2	評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	60	100
				評価割合	40	0	0	0		

教育到達目標と概要

英語で発話する力を伸ばすことを目標とします。シェイクスピアの Romeo and Juliet (『ロミオとジュリエット』) を平易な英語で書き直した台本を使用し、内容の理解とともに実際にセリフを発声する練習を行います。特に、英語特有の音、リズムやメロディをつかみ再現することに重点を置きます。定着度を測り自らの成長を実感するための小テストを実施します。毎回の授業の予習および授業自体に Microsoft Teams および Microsoft One Note の機能を使用します。最終的には(1)小さな場を

学修成果

英語特有の音、リズム、メロディを聞き分け、自らも発話できるようになる。英語の基礎的文法知識を用いて、英文を組み立てることができるようになる。

授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、Get to Know Your Classmates 英語で自己紹介しあい、英語でお互いの基礎情報を交換する
- 第2回 映画による内容把握1 シェイクスピアの英語に耳で慣れるようにつとめながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを整理する
- 第3回 映画による内容把握2 ことばと身体表現の関係に注目しながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを把握する
- 第4回 映画による内容把握3 登場人物のモチベーションを考えながら映画を見終わり、この作品についての意見を述べあう
- 第5回 Introduction, Act 1 Scene 1 - 1 の内容理解。受講生の発音能力の確認
- 第6回 Act 1 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。英語が日本語と異なるメロディをもつ理由。stress-timed language というものについて理解し、テキスト内の例を用いて耳と口で慣れる
- 第7回 Act 1 Scene 3 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いてさらに口慣れするように練習する
- 第8回 Act 1 Scene 3 - 2、Act 2 Scene 1 - 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習と、/r/ の発音に注目した練習を行う
- 第9回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第10回 Act 2 Scene 2、Scene 3 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。イントネーション、リンキングの重要性の解説と実践
- 第11回 Act 2 Scene 4、Act 3 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの例の解説と練習
- 第12回 Act 3 Scene 1 - 2、Act 3 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第13回 Act 3 Scene 3、Scene 4 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第14回 ここまでの授業で例としてとりあげた会話セクションを、グループで会話劇として組み立てる
- 第15回 ミニテスト。14回目で練習した場面の発表と、内容把握
- 第16回 Act 3 Scene 5 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習
- 第17回 Act 4 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/ɜ/ の発音方法解説と実践
- 第18回 Act 4 Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。schwa /ə/ の発音方法解説と実践
- 第19回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第20回 Act 4 Scene 2、Act 5 Scene 1 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用いた練習。リンキングの別の例の解説と練習。/æ/ の発音方法解説と実践
- 第21回 Act 5 Scene 1 - 2、Scene 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第22回 Act 5 Scene 2 - 2 の内容理解。テキスト内の stress-time の別の例を用い、ここまで学んだ英語特有の発音すべてに留意しながら発話する練習
- 第23回 Act 1 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第24回 Act 1 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 2 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第25回 Act 2 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 3 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループ
- 第26回 Act 3 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 4 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第27回 Act 4 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 5 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク



第28回 Act 5 の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。意見交換

第29回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析のグループワーク

第30回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析結果のグループ・プレゼンテーション

#### 履修上の注意

授業は必ず出席してください。

授業には Microsoft Teams および Microsoft One Note を使用しますので、使用するデバイス（タブレットあるいはPC推奨）を満充電の状態を持参してください。

課題・資料配付／回収は Teams を通して行いますので、必要な場合は各自で印刷してください。

クラスメイトとのコミュニケーションにマイク付きイヤフォンが必要な場合があります。

#### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業内で、次回までの課題等を指示しますので、必ず準備してきてください。予習には60分程度、復習にも60分程度要します。授業内小テストおよび試験に対するコメント・評価は Teams を使用します。

#### 教科書・参考書

Romeo and Juliet (William Shakespeare 著、Alistair McCallum 翻案、Oxford Bookworms Library) 必ず購入してください

科目名－クラス名

## 中級英語Ⅱ

A

## 曜日時限

水 4時限

## 担当教員

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	1～	通年	2	評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト
				評価割合	40	0	0	0	60

## 教育到達目標と概要

英語で発話する力を強化することを目標とします。シェイクスピアの Romeo and Juliet (『ロミオとジュリエット』) を平易な現代英語で書き直した台本を使用し、ストーリーの理解だけでなく、セリフを発する背景にある感情や動機の分析してゆきます。その上で、人物の感情を再現するようにセリフを発声する練習を行います。英語は音としてどのように感情を伝える仕組みを持つ言語か、具体的な例を使いながら基本的なルールを確認し、自ら応用できるようになることを目指して練習を繰り返します。また、定着度を測り自らの成長を実感するための小テストを数回実施します。毎回の授業の予習および授業自体に Microsoft Teams および Microsoft One Note の機能を使用します。学年終盤では、(1)グループワークで小さな場面を自然な英語で作成発表し、(2)『ロミオとジュリエット』という作品の分析や解釈についてのディスカッションとプレゼンテーションを行います。

## 学修成果

感情を正確に伝えられる、自然な英語を発話できるようになる。  
英語の基礎的文法知識を再確認し、応用作文等ができるようになる。

## 授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、Get to Know Your Classmates 英語で自己紹介しあい、英語でお互いの基礎情報を交換する
- 第2回 映画による内容把握 1 シェイクスピアの英語に耳で慣れるようにつとめながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを整理する
- 第3回 映画による内容把握 2 ことばと身体表現の関係に注目しながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを把握する
- 第4回 映画による内容把握 3 登場人物のモチベーションを考えながら映画を見終り、この作品についての意見を述べあう
- 第5回 pp. 9 - 11 の内容理解。受講生の発音能力の確認
- 第6回 pp. 12 - 15 の内容理解。英語が日本語とメロディが異なる理由。stress を置くことばで文意が変わる
- 第7回 pp. 16 - 18 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、stress を置くことばで文意が変わる例を実践する
- 第8回 pp. 19 - 21 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、イントネーションの違いで文意が変わる例を実践する
- 第9回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第10回 pp. 22 - 25 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、特に/r/の音を正しくきれいに発音する練習
- 第11回 pp. 26 - 29 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、catenation の例を確認し、実践する
- 第12回 pp. 30 - 32 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、assimilation の例を確認し、実践する
- 第13回 pp. 33 - 37 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、elision の例を確認し、実践する
- 第14回 ここまでの授業で例としてとりあげた会話セクションを、グループで会話劇として組み立てる
- 第15回 ミニテスト。14回目で練習した場面の発表と、内容把握
- 第16回 pp. 38 - 42 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、elision、/ə/の例を確認し、実践する。強い感情を込めて話す
- 第17回 pp. 43 - 47 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、引き続き elision、/ə/の例を確認し、実践する。強い感情を込めて話す
- 第18回 pp. 48 - 50 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、schwa /ə/ の例を確認し、実践する。それぞれのセリフをイントネーションに留意して発話する
- 第19回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第20回 pp. 51 - 54 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、ここまで学んだ発話ルールを確認し、なめらかに自然に発話する練習をする
- 第21回 pp. 54 - 57 の内容理解。テキスト内のパッセージから少し長めのセリフのまとめ方に注目し、ここまで学んだ発話ルールを確認し、なめらかに自然に発話する練習をする
- 第22回 pp. 58 - 60 の内容理解。緊張感のある場面で、どの単語にストレスをおいて話すか、丁寧に感情を込めて発話する
- 第23回 pp. 61 - 63 の内容理解。最終場面をどの単語にストレスをおいて話すか、丁寧に感情を込めて発話する
- 第24回 Part 1の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第25回 Act 1の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 2の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第26回 Act 2の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 3の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第27回 Act 3の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 4の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を

考えたうえで発話するグループワーク

第28回 Act 4の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。意見交換

第29回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析のグループワーク

第30回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析結果のグループ・プレゼンテーション

### 履修上の注意

授業は必ず出席してください。

教科書は amazon Kindle book を購入していただきます。Kindle book を読むことができるデバイスを必ずご用意ください。（Kindle book を読むためのアプリは Microsoft、Apple とともに無料提供されています）

授業には Microsoft Teams および Microsoft One Note を使用しますので、使用するデバイス（タブレットあるいはPC推奨）を満充電の状態を持参してください。

課題・資料配付／回収は Teams を通して行いますので、必要な場合は各自で印刷してください。

クラスメイトとのコミュニケーションにマイク付きイヤフォンが必要な場合があります。

### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業内で、次回までの課題等を指示しますので、必ず準備してきてください。予習には60分程度、復習にも60分程度要します。授業内小テストおよび試験に対するコメント・評価は Teams を使用します。

### 教科書・参考書

Romeo and Juliet (William Shakespeare 著、Saddleback's Illustrated Classics)

\* 書店では購入できません。授業内で購入方法を指示します

科目名－クラス名

**中級英語Ⅱ**

A

曜日時限

担当教員

水 4時限

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	通年	2	40	0	0	0	60	100

教育到達目標と概要

英語で発話する力を強化することを目標とします。シェイクスピアの Romeo and Juliet (『ロミオとジュリエット』) を平易な現代英語で書き直した台本を使用し、ストーリーの理解だけでなく、セリフを発する背景にある感情や動機の分析してゆきます。その上で、人物の感情を再現するようにセリフを発声する練習を行います。英語は音としてどのように感情を伝える仕組みを持つ言語か、具体的な例を使いながら基本的なルールを確認し、自ら応用できるようになることを目指して練習を繰り返します。また、定着度を測り自らの成長を実感

学修成果

感情を正確に伝えられる、自然な英語を発話できるようになる。  
英語の基礎的文法知識を再確認し、応用作文等ができるようになる。

授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、Get to Know Your Classmates 英語で自己紹介しあい、英語でお互いの基礎情報を交換する
- 第2回 映画による内容把握 1 シェイクスピアの英語に耳で慣れるようにつとめながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを整理する
- 第3回 映画による内容把握 2 ことばと身体表現の関係に注目しながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを把握する
- 第4回 映画による内容把握 3 登場人物のモチベーションを考えながら映画を見終わり、この作品についての意見を述べあう
- 第5回 pp. 9 - 11 の内容理解。受講生の発音能力の確認
- 第6回 pp. 12 - 15 の内容理解。英語が日本語とメロディが異なる理由。stress を置くことばで文意が変わる
- 第7回 pp. 16 - 18 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、stress を置くことばで文意が変わる例を実践する
- 第8回 pp. 19 - 21 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、イントネーションの違いで文意が変わる例を実践する
- 第9回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第10回 pp. 22 - 25 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、特に/r/の音を正しくきれいに発音する練習
- 第11回 pp. 26 - 29 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、catenation の例を確認し、実践する
- 第12回 pp. 30 - 32 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、assimilation の例を確認し、実践する
- 第13回 pp. 33 - 37 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、elision の例を確認し、実践する
- 第14回 ここまでの授業で例としてとりあげた会話セクションを、グループで会話劇として組み立てる
- 第15回 ミニテスト。14回目で練習した場面の発表と、内容把握
- 第16回 pp. 38 - 42 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、elision、/ə/の例を確認し、実践する。強い感情を込めて話す
- 第17回 pp. 43 - 47 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、引き続き elision、/ə/の例を確認し、実践する。強い感情を込めて話す
- 第18回 pp. 48 - 50 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、schwa /ə/ の例を確認し、実践する。それぞれのセリフをイントネーションに留意して発話する
- 第19回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第20回 pp. 51 - 54 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、ここまで学んだ発話ルールを確認し、なめらかに自然に発話する練習をする
- 第21回 pp. 54 - 57 の内容理解。テキスト内のパッセージから少し長めのセリフのまとめ方に注目し、ここまで学んだ発話ルールを確認し、なめらかに自然に発話する練習をする
- 第22回 pp. 58 - 60 の内容理解。緊張感のある場面で、どの単語にストレスをおいて話すか、丁寧に感情を込めて発話する
- 第23回 pp. 61 - 63 の内容理解。最終場面をどの単語にストレスをおいて話すか、丁寧に感情を込めて発話する
- 第24回 Part 1の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第25回 Act 1の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 2の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第26回 Act 2の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 3の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第27回 Act 3の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 4の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク

第28回 Act 4の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。意見交換

第29回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析のグループワーク

第30回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析結果のグループ・プレゼンテーション

#### 履修上の注意

授業は必ず出席してください。

教科書は amazon Kindle book を購入していただきます。Kindle book を読むことができるデバイスを必ずご用意ください。（Kindle bookを読むためのアプリは Microsoft、Apple とともに無料提供されています）

授業には Microsoft Teams および Microsoft One Note を使用しますので、使用するデバイス（タブレットあるいはPC推奨）を満充電の状態を持参してください。  
課題・資料配付／回収は Teams

#### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業内で、次回までの課題等を指示しますので、必ず準備してきてください。予習には60分程度、復習にも60分程度要します。授業内小テストおよび試験に対するコメント・評価は Teams を使用します。

#### 教科書・参考書

Romeo and Juliet (William Shakespeare 著、Saddleback's Illustrated Classics)

\* 書店では購入できません。授業内で購入方法を指示します

科目名－クラス名

## 中級英語Ⅱ

C

## 曜日時限

水 3時限

## 担当教員

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	通年	2	40	0	0	0	60	100

## 教育到達目標と概要

英語で発話する力を強化することを目標とします。シェイクスピアの Romeo and Juliet (『ロミオとジュリエット』) を平易な現代英語で書き直した台本を使用し、ストーリーの理解だけでなく、セリフを発する背景にある感情や動機の分析してゆきます。その上で、人物の感情を再現するようにセリフを発声する練習を行います。英語は音としてどのように感情を伝える仕組みを持つ言語か、具体的な例を使いながら基本的なルールを確認し、自ら応用できるようになることを目指して練習を繰り返します。また、定着度を測り自らの成長を実感するための小テストを数回実施します。毎回の授業の予習および授業自体に Microsoft Teams および Microsoft One Note の機能を使用します。学年終盤では、(1)グループワークで小さな場面を自然な英語で作成発表し、(2)『ロミオとジュリエット』という作品の分析や解釈についてのディスカッションとプレゼンテーションを行います。

## 学修成果

感情を正確に伝えられる、自然な英語を発話できるようになる。  
英語の基礎的文法知識を再確認し、応用作文等ができるようになる。

## 授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、Get to Know Your Classmates 英語で自己紹介しあい、英語でお互いの基礎情報を交換する
- 第2回 映画による内容把握 1 シェイクスピアの英語に耳で慣れるようにつとめながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを整理する
- 第3回 映画による内容把握 2 ことばと身体表現の関係に注目しながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを把握する
- 第4回 映画による内容把握 3 登場人物のモチベーションを考えながら映画を見終わり、この作品についての意見を述べあう
- 第5回 pp. 9 - 11 の内容理解。受講生の発音能力の確認
- 第6回 pp. 12 - 15 の内容理解。英語が日本語とメロディが異なる理由。stress を置くことばで文意が変わる
- 第7回 pp. 16 - 18 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、stress を置くことばで文意が変わる例を実践する
- 第8回 pp. 19 - 21 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、イントネーションの違いで文意が変わる例を実践する
- 第9回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第10回 pp. 22 - 25 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、特に/r/の音を正しくきれいに発音する練習
- 第11回 pp. 26 - 29 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、catenation の例を確認し、実践する
- 第12回 pp. 30 - 32 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、assimilation の例を確認し、実践する
- 第13回 pp. 33 - 37 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、elision の例を確認し、実践する
- 第14回 ここまでの授業で例としてとりあげた会話セクションを、グループで会話劇として組み立てる
- 第15回 ミニテスト。14回目で練習した場面の発表と、内容把握
- 第16回 pp. 38 - 42 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、elision、/ə/の例を確認し、実践する。強い感情を込めて話す
- 第17回 pp. 43 - 47 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、引き続き elision、/ə/の例を確認し、実践する。強い感情を込めて話す
- 第18回 pp. 48 - 50 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、schwa /ə/ の例を確認し、実践する。それぞれのセリフをイントネーションに留意して発話する
- 第19回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第20回 pp. 51 - 54 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、ここまで学んだ発話ルールを確認し、なめらかに自然に発話する練習をする
- 第21回 pp. 54 - 57 の内容理解。テキスト内のパッセージから少し長めのセリフのまとめ方に注目し、ここまで学んだ発話ルールを確認し、なめらかに自然に発話する練習をする
- 第22回 pp. 58 - 60 の内容理解。緊張感のある場面で、どの単語にストレスをおいて話すか、丁寧に感情を込めて発話する
- 第23回 pp. 61 - 63 の内容理解。最終場面をどの単語にストレスをおいて話すか、丁寧に感情を込めて発話する
- 第24回 Part 1の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第25回 Act 1の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 2の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第26回 Act 2の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 3の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第27回 Act 3の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 4の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を

考えたうえで発話するグループワーク

第28回 Act 4の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。意見交換

第29回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析のグループワーク

第30回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析結果のグループ・プレゼンテーション

### 履修上の注意

授業は必ず出席してください。

教科書は amazon Kindle book を購入していただきます。Kindle book を読むことができるデバイスを必ずご用意ください。（Kindle bookを読むためのアプリは Microsoft、Apple とともに無料提供されています）

授業には Microsoft Teams および Microsoft One Note を使用しますので、使用するデバイス（タブレットあるいはPC推奨）を満充電の状態を持参してください。

課題・資料配付／回収は Teams を通して行いますので、必要な場合は各自で印刷してください。

クラスメイトとのコミュニケーションにマイク付きイヤフォンが必要な場合があります。

### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業内で、次回までの課題等を指示しますので、必ず準備してきてください。予習には60分程度、復習にも60分程度要します。授業内小テストおよび試験に対するコメント・評価は Teams を使用します。

### 教科書・参考書

Romeo and Juliet (William Shakespeare 著、Saddleback's Illustrated Classics)

\* 書店では購入できません。授業内で購入方法を指示します

科目名－クラス名

中級英語Ⅱ

C

曜日時限

水 3時限

担当教員

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
演習	1～	通年	2	40	0	0	0	60	100

教育到達目標と概要

英語で発話する力を強化することを目標とします。シェイクスピアの Romeo and Juliet (『ロミオとジュリエット』) を平易な現代英語で書き直した台本を使用し、ストーリーの理解だけでなく、セリフを発する背景にある感情や動機の分析してゆきます。その上で、人物の感情を再現するようにセリフを発声する練習を行います。英語は音としてどのように感情を伝える仕組みを持つ言語か、具体的な例を使いながら基本的なルールを確認し、自ら応用できるようになることを目指して練習を繰り返します。また、定着度を測り自らの成長を実感

学修成果

感情を正確に伝えられる、自然な英語を発話できるようになる。  
英語の基礎的文法知識を再確認し、応用作文等ができるようになる。

授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、Get to Know Your Classmates 英語で自己紹介しあい、英語でお互いの基礎情報を交換する
- 第2回 映画による内容把握 1 シェイクスピアの英語に耳で慣れるようにつとめながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを整理する
- 第3回 映画による内容把握 2 ことばと身体表現の関係に注目しながら鑑賞し、ワークシートを用いてストーリーを把握する
- 第4回 映画による内容把握 3 登場人物のモチベーションを考えながら映画を見終わり、この作品についての意見を述べあう
- 第5回 pp. 9 - 11 の内容理解。受講生の発音能力の確認
- 第6回 pp. 12 - 15 の内容理解。英語が日本語とメロディが異なる理由。stress を置くことばで文意が変わる
- 第7回 pp. 16 - 18 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、stress を置くことばで文意が変わる例を実践する
- 第8回 pp. 19 - 21 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、イントネーションの違いで文意が変わる例を実践する
- 第9回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第10回 pp. 22 - 25 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、特に/r/の音を正しくきれいに発音する練習
- 第11回 pp. 26 - 29 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、catenation の例を確認し、実践する
- 第12回 pp. 30 - 32 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、assimilation の例を確認し、実践する
- 第13回 pp. 33 - 37 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、elision の例を確認し、実践する
- 第14回 ここまでの授業で例としてとりあげた会話セクションを、グループで会話劇として組み立てる
- 第15回 ミニテスト。14回目で練習した場面の発表と、内容把握
- 第16回 pp. 38 - 42 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、elision、/ə/の例を確認し、実践する。強い感情を込めて話す
- 第17回 pp. 43 - 47 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、引き続き elision、/ə/の例を確認し、実践する。強い感情を込めて話す
- 第18回 pp. 48 - 50 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、schwa /ə/ の例を確認し、実践する。それぞれのセリフをイントネーションに留意して発話する
- 第19回 ミニテスト。発音の定着度と、内容把握の2つの側面をテストする
- 第20回 pp. 51 - 54 の内容理解。テキスト内のパッセージを用いて、ここまで学んだ発話ルールを確認し、なめらかに自然に発話する練習をする
- 第21回 pp. 54 - 57 の内容理解。テキスト内のパッセージから少し長めのセリフのまとめ方に注目し、ここまで学んだ発話ルールを確認し、なめらかに自然に発話する練習をする
- 第22回 pp. 58 - 60 の内容理解。緊張感のある場面で、どの単語にストレスをおいて話すか、丁寧に感情を込めて発話する
- 第23回 pp. 61 - 63 の内容理解。最終場面をどの単語にストレスをおいて話すか、丁寧に感情を込めて発話する
- 第24回 Part 1の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第25回 Act 1の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 2の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第26回 Act 2の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 3の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク
- 第27回 Act 3の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。Act 4の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話するグループワーク



第28回 Act 4の代表的場面を、自然な英語の発音で、人物の心理状況を考えたうえで発話する発表。意見交換

第29回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析のグループワーク

第30回 Romeo and Juliet の作品解釈および分析結果のグループ・プレゼンテーション

#### 履修上の注意

授業は必ず出席してください。

教科書は amazon Kindle book を購入していただきます。Kindle book を読むことができるデバイスを必ずご用意ください。（Kindle bookを読むためのアプリは Microsoft、Apple とともに無料提供されています）

授業には Microsoft Teams および Microsoft One Note を使用しますので、使用するデバイス（タブレットあるいはPC推奨）を満充電の状態を持参してください。課題・資料配付／回収は Teams

#### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業内で、次回までの課題等を指示しますので、必ず準備してきてください。予習には60分程度、復習にも60分程度要します。授業内小テストおよび試験に対するコメント・評価は Teams を使用します。

#### 教科書・参考書

Romeo and Juliet (William Shakespeare 著、Saddleback's Illustrated Classics)

\* 書店では購入できません。授業内で購入方法を指示します

科目名－クラス名

## 上級英語Ⅳ

## 曜日時限

水 5時限

## 担当教員

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	1～	通年	2	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				40	0	0	0	60	100

## 教育到達目標と概要

英語を用いた一歩先の高度な活動—reading, analysis, and presentation—を実践することを目標とする。シェイクスピアの Romeo and Juliet、King Lear の現代英語小説版をテキストとし、グループワークを通して物語を把握し、人物の心理や動機を分析する。グループワークの結果をクラスにプレゼンテーションすることで、積極的な英語の活用経験を増やしてゆく。

## 学修成果

動機や感情などの繊細な心理を英文から読み取ることができるようになる。  
自身の考えを英語で短くまとめることができるようになる。

## 授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、Get to Know Your Classmates 英語で自己紹介しあい、英語でお互いの基礎情報を交換する
- 第2回 Romeo and Juliet 全体像の把握
- 第3回 Romeo and Juliet Part 1, Section 1。本作の<提示部>における人物の動機に注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第4回 Romeo and Juliet Part 1, Section 2。ひきつづき本作の<提示部>における人物の動機と心理の動きに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第5回 Romeo and Juliet Part 1, Section 3。本作の<上昇部>における急激な物語の展開のなかの人物の動機と心理の動きに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第6回 Romeo and Juliet Part 1, Section 3。本作の<上昇部～頂上部>における急激な物語の展開のなかの人物の動機と心理の動きに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第7回 Romeo and Juliet Part 1, Section 4。ひきつづき本作の<頂上部>における急激な物語の展開のなかの人物の動機と心理の動きに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う。分析・解釈の結果を発表する際に必要なテクニックの基礎を学ぶ
- 第8回 Romeo and Juliet Part 2, Section 1。ひきつづき本作の<頂上部>における人物の動機、選択に注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第9回 Romeo and Juliet Part 2, Section 2。ひ本作の<下降部>における人物の動機、選択に注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第10回 Romeo and Juliet Part 2, Section 2。ひきつづき本作の<下降部>における人物の動機、選択に注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第11回 Romeo and Juliet Part 2, Section 2。本作の<下降部～結末>における人物の動機、選択に注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第12回 Romeo and Juliet Part 2, Section 2。ひきつづき本作の<結末>における人物心理の変化に注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第13回 Romeo and Juliet 全体を振り返り、複数のテーマについてグループ・ディスカッションを行う
- 第14回 ひきつづき複数のテーマについてグループ・ディスカッションを行い、その結果をプレゼンテーションにする準備を行う
- 第15回 13回からの作業を仕上げ、グループ・プレゼンテーションを行う
- 第16回 King Lear 全体像の把握。King Lear Part 1, Section 1。本作の<提示部>における人物の動機、選択に注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第17回 King Lear Part 1, Section 2。ひきつづき本作の<提示部>における人物の動機、時代背景などに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第18回 King Lear Part 1, Section 3。本作の<上昇部>における人物の動機、感情や思考などに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第19回 King Lear Part 1, Section 4。ひきつづき本作の<上昇部>における人物の動機、感情や思考などに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第20回 King Lear Part 1, Section 5。本作の<頂上部>における人物の動機、感情や思考、狂気などに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第21回 King Lear Part 2, Section 1。ひきつづき本作の<頂上部>における人物の動機、感情や思考、狂気、欲などのテーマに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う

第22回	King Lear Part 2, Section 2。本作の<下降部>における人物の動機、感情や思考、狂気、欲などのテーマに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
第23回	King Lear Part 2, Section 3。ひきつづき本作の<下降部>における人物の動機、感情や思考、狂気、欲などのテーマに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
第24回	King Lear Part 2, Section 4。本作の<下降部～結末部>における人物の動機、感情や思考、狂気、欲などのテーマに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
第25回	King Lear Part 2, Section 5。ひきつづき本作の<結末部>における人物の動機、感情や思考、狂気、欲などのテーマに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
第26回	King Lear 全体を振り返り、複数のテーマについてグループ・ディスカッションを行う
第27回	ひきつづき複数のテーマについてグループ・ディスカッションを行い、その結果をプレゼンテーションにする準備を行う
第28回	13回からの作業を仕上げ、グループ・プレゼンテーションを行う
第29回	Romeo and Juliet あるいは King Lear について個別の分析・解釈を行う
第30回	14の結果をパラグラフにまとめる

### 履修上の注意

授業は必ず出席してください。

教科書は amazon Kindle book を購入していただきます。Kindle book を読むことができるデバイスを必ずご用意ください。（Kindle bookを読むためのアプリは Microsoft、Apple とともに無料提供されています）

授業には Microsoft Teams および Microsoft One Note を使用しますので、使用するデバイス（タブレットあるいはPC推奨）を満充電の状態を持参してください。

課題・資料配付／回収は Teams を通して行いますので、必要な場合は各自で印刷してください。

クラスメイトとのコミュニケーションにマイク付きイヤフォンが必要な場合があります。

### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業内で、次回までの課題等を指示しますので、必ず準備してきてください。予習には60分程度、復習にも60分程度要します。授業内小テストおよび試験に対するコメント・評価は Teams を使用します。

### 教科書・参考書

Three Great Plays of Shakespeare (William Shakespeare 著、Karen Holmes翻案 Penguin Active Reading Level 4)

\*書店では購入できません。授業内で購入方法を指示します

科目名－クラス名

**上級英語IV**

曜日時限

水 5時限

担当教員

香西 史子

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験				授業内小テスト	
演習	1～	通年	2	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	60	100
				40	0	0	0		

教育到達目標と概要

英語を用いた一歩先の高度な活動—reading, analysis, and presentation—を実践することを目標とする。シェイクスピアの Romeo and Juliet、King Lear の現代英語小説版をテキストとし、グループワークを通して物語を把握し、人物の心理や動機を分析する。グループワークの結果をクラスにプレゼンテーションすることで、積極的な英語の活用経験を増やしてゆく。

学修成果

動機や感情などの繊細な心理を英文から読み取ることができるようになる。  
自身の考えを英語で短くまとめることができるようになる。

授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、Get to Know Your Classmates 英語で自己紹介しあい、英語でお互いの基礎情報を交換する
- 第2回 Romeo and Juliet 全体像の把握
- 第3回 Romeo and Juliet Part 1, Section 1。本作の<提示部>における人物の動機に注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第4回 Romeo and Juliet Part 1, Section 2。ひきつづき本作の<提示部>における人物の動機と心理の動きに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第5回 Romeo and Juliet Part 1, Section 3。本作の<上昇部>における急激な物語の展開のなかの人物の動機と心理の動きに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第6回 Romeo and Juliet Part 1, Section 3。本作の<上昇部～頂上部>における急激な物語の展開のなかの人物の動機と心理の動きに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第7回 Romeo and Juliet Part 1, Section 4。ひきつづき本作の<頂上部>における急激な物語の展開のなかの人物の動機と心理の動きに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う。分析・解釈の結果を発表する際に必要なテクニックの基礎を学ぶ
- 第8回 Romeo and Juliet Part 2, Section 1。ひきつづき本作の<頂上部>における人物の動機、選択に注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第9回 Romeo and Juliet Part 2, Section 2。ひ本作の<下降部>における人物の動機、選択に注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第10回 Romeo and Juliet Part 2, Section 2。ひきつづき本作の<下降部>における人物の動機、選択に注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第11回 Romeo and Juliet Part 2, Section 2。本作の<下降部～結末>における人物の動機、選択に注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第12回 Romeo and Juliet Part 2, Section 2。ひきつづき本作の<結末>における人物心理の変化に注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第13回 Romeo and Juliet 全体を振り返り、複数のテーマについてグループ・ディスカッションを行う
- 第14回 ひきつづき複数のテーマについてグループ・ディスカッションを行い、その結果をプレゼンテーションにする準備を行う
- 第15回 13回からの作業を仕上げ、グループ・プレゼンテーションを行う
- 第16回 King Lear 全体像の把握。King Lear Part 1, Section 1。本作の<提示部>における人物の動機、選択に注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第17回 King Lear Part 1, Section 2。ひきつづき本作の<提示部>における人物の動機、時代背景などに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第18回 King Lear Part 1, Section 3。本作の<上昇部>における人物の動機、感情や思考などに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第19回 King Lear Part 1, Section 4。ひきつづき本作の<上昇部>における人物の動機、感情や思考などに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第20回 King Lear Part 1, Section 5。本作の<頂上部>における人物の動機、感情や思考、狂気などに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
- 第21回 King Lear Part 2, Section 1。ひきつづき本作の<頂上部>における人物の動機、感情や思考、狂気、欲などのテーマに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う

第22回	King Lear Part 2, Section 2。本作の<下降部>における人物の動機、感情や思考、狂気、欲などのテーマに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
第23回	King Lear Part 2, Section 3。ひきつづき本作の<下降部>における人物の動機、感情や思考、狂気、欲などのテーマに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
第24回	King Lear Part 2, Section 4。本作の<下降部～結末部>における人物の動機、感情や思考、狂気、欲などのテーマに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
第25回	King Lear Part 2, Section 5。ひきつづき本作の<結末部>における人物の動機、感情や思考、狂気、欲などのテーマに注目しながら、グループワークで予習結果を確認し、場面のサマリーのプレゼンテーションを行う
第26回	King Lear 全体を振り返り、複数のテーマについてグループ・ディスカッションを行う
第27回	ひきつづき複数のテーマについてグループ・ディスカッションを行い、その結果をプレゼンテーションにする準備を行う
第28回	13回からの作業を仕上げ、グループ・プレゼンテーションを行う
第29回	Romeo and Juliet あるいは King Lear について個別の分析・解釈を行う
第30回	14の結果をパラグラフにまとめる

### 履修上の注意

授業は必ず出席してください。

教科書は amazon Kindle book を購入していただきます。Kindle book を読むことができるデバイスを必ずご用意ください。（Kindle book を読むためのアプリは Microsoft、Apple とともに無料提供されています）

授業には Microsoft Teams および Microsoft One Note を使用しますので、使用するデバイス（タブレットあるいはPC推奨）を満充電の状態を持参してください。

課題・資料配付／回収は Teams

### 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業内で、次回までの課題等を指示しますので、必ず準備してきてください。予習には60分程度、復習にも60分程度要します。授業内小テストおよび試験に対するコメント・評価は Teams を使用します。

### 教科書・参考書

Three Great Plays of Shakespeare (William Shakespeare 著、Karen Holmes 翻案 Penguin Active Reading Level 4)

\* 書店では購入できません。授業内で購入方法を指示します

## 2022年度(後期・通年)「学生による授業評価アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：0700 教員名：香西 史子

### 1) 評価結果に対する所見

#### ○『演劇の歴史と作品』

オンディマンド講義ではあるが、学生からの出席報告フォームに「質問・感想欄」を設け、それに対する香西の回答を次の配信開始日に配信した。この方法は制作側としては極めて煩瑣で時間がかかるが、少なくとも受講者との交流ができるという点では非常に良い手段であり、受講生からも好評である。

#### ○英語科目

発音指導への重点を強めることで、学生が実際に実力アップを体感できるようになった。特に初級英語履修者は英語に対するコンプレックスを持っていることが多く、読解や文法を文字からではなく、耳と口で体験を通じて学修させることが効果的であった。

#### ○文学

大変厳しい意見があった部分は香西以外の科目担当者についてであり、香西が個別に実施しているアンケートから判断すると概ね学修成果がでていていると思われる。

### 2) 要望への対応・改善方策

#### ○『演劇の歴史と作品』

試験の実施方法については常に頭を悩ませているが、オンディマンド授業であることで柔軟な受講ができることが、逆の立場（講師側）からはカンニングを完全に防止できる試験方法を検討することの困難を引き起こしている。設備面での改善を待ちたい。

#### ○英語科目

2022年に取得した「国際英語発音指導士」の資格を活用し、発音指導をより強化することで、英語を実際に身体的に使用することが学修効果を高めることを学生に実感してもらう。

#### ○文学

オンディマンド方式での学修に慣れてもらう工夫を検討する

### 3) 今後の課題

#### ○日本語力の問題

どの科目においても日本語運用能力に大きな差異が見られるようになっている。授業内での対応を検討することが必要であるが、さらに各授業の日本語難易度や含有率などを表示するといった事務的な対応も必要である。

以 上